

第8回置賜地区高校生小論文コンテストのガイダンス

このガイダンスは、主催者側の意図を踏まえつつ、応募者が小論文に取り組みやすいように作成されたものです。「こうあるべきだ」というものを示そうとするものではありません。小論文作成の参考資料としてご利用ください。

1 コンテストのテーマ

ー人口減少社会の中でも持続可能な地域とするため、
地域の未来と私たちの生き方について考えるー

このテーマの「人口減少社会」「持続可能な地域」とはどのようなことでしょうか。これらの考察を通じて、地域の現状認識から地域の未来への提案を行ってみましょう。

(1) 人口減少社会について

① 置賜地域の市町別将来人口推計

置賜地域では、2050年の人口が2020年と比較して39%減少すると推計されています。

	2020 年	2030 年	2040 年	2050 年	人口変化率 2050／2020
山形県	1,068,027	945,122	827,776	710,838	66.6%
置賜地域	201,846	173,874	148,421	123,782	61.3%
米沢市	81,252	71,907	62,506	53,112	65.4%
長井市	26,543	23,140	20,005	16,881	63.6%
南陽市	30,420	26,419	22,851	19,390	63.7%
高畠町	22,463	19,257	16,549	13,826	61.6%
川西町	14,558	11,636	9,253	7,107	48.8%
小国町	7,107	5,591	4,345	3,298	46.4%
白鷹町	12,890	10,489	8,490	6,660	51.7%
飯豊町	6,613	5,435	4,422	3,508	53.0%

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2023 年推計）」

② 若年層の県外流出

令和5年～令和6年の置賜地域（山形県）の県外への転入・転出状況は、775(3,145)人の転出超過です。その中で、置賜地域（山形県）の若年層（15～24歳）の転出超過は471(2,368)人となっています。高校や大学などの卒業後、大学進学や就職などで県外に移る若年層が多く、置賜地域（山形県）の社会動態における人口減少に大きく影響しています。

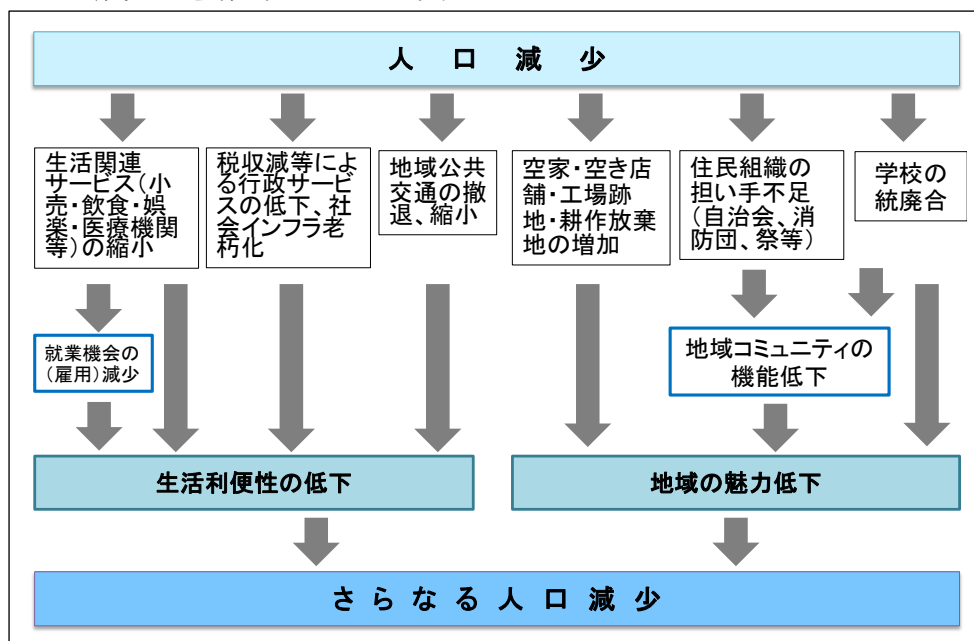
	県外転入 a	県外転出 b	転出超過 b-a
置賜地域	2,572	3,347	775
若年層	785	1,256	471
山形県	14,604	17,749	3,145
若年層	4,362	6,730	2,368

出典：令和6年山形県の人口と世帯数

③地域の衰退

人口減少が進行することで、生活利便性や地域の魅力が低下し、さらなる人口減少を引き起こす可能性が高いと考えられています。これにより、地域の衰退が加速する恐れがあります。

人口減少の悪循環のイメージ図



出典：国土交通白書 2015

④山形県の暮らし

山形県は人口減少が進んでいる地域ですが、一方で、大変暮らしやすいということが次のデータに示されています。 <https://yamagata-iju.jp/pref/number.pdf>

例えば次のようなことです。

仕事	高い正規雇用率と共働き率(いずれも全国2位) 短い通勤時間(東京の半分以下)、早い仕事からの帰宅時間 高い有給休暇取得率、25～44歳女性の労働力が高い(全国2位)
子育て・教育	待機児童数5年連続「ゼロ」、安い教育費(東京の半分以下) 育児をしながら働く女性の割合が高い(全国2位) 一人ひとりに丁寧に向き合え、地域の魅力や伝統に触れられる教育環境
暮らし	高い一住宅の敷地面積と持ち家比率(いずれも全国2位)、安い住宅購入費用
安心・安全	低い犯罪率(全国7位)と高い検挙率(全国1位)

(2)持続可能な地域について

持続可能な地域の構築は複雑なテーマです。理解を深めるために、第6回小論文コンテストの入賞作の概略を下表に示しています。過去の優秀作も参照して、さまざまなアプローチを探究しましょう。これらは「米沢有為会」のホームページで確認することができます。

題名	気づきの糸口	考察の概略
例1 住み続けられる町にするために	探究学習、放課後活動等	地域と深く向き合うことで、自分の町の魅力に改めて気づけたら、地元を好きになって住み続けられ、持続可能な社会づくりが広がる。

例2 未来のふるさとを守るために	先行事例の検討	若い世代が戻る高畠町の町づくりとして、保育所の増加や小児救急医療 24 時間受け入れ体制づくりを行うことで、IU ターンを促進できる。
例3 活気あふれる未来のために	データによる現状把握	新しいものを生み出し良いものを継承する世代を超えた「学生と子育て世代の地域交流」がこれからの時代には必要となる。
例4 置賜人口流出を防ぐために	探究学習と先行事例の検討	若者が行きたくなる個人店を地域一丸となつてつくり上げるような、地域との協働で行う食文化の活性化が人口減少対策に役立つ。
例5 地元で働くきっかけづくり	進学校の現状把握	高校生の卒業後の進路を問わず地元の企業を広く知る機会を設けて職業選択の一つとすることが、地域全体の成長につながる。

2 小論文について

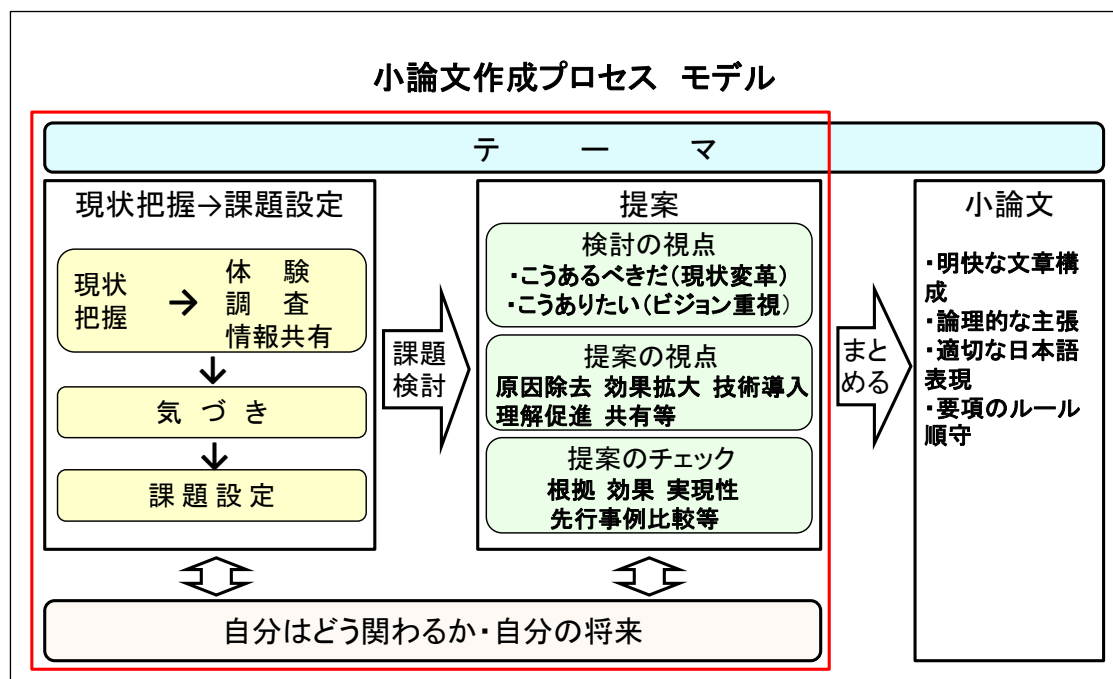
(1) 小論文とは

小論文とは、「指定された文字数内で、自ら設定したテーマ(課題)に基づき、その課題についての考察を論理的に述べた文章」です。それでは「テーマの考察」と「論理的に述べる」とは、どのようなことでしょうか。

(2) テーマの考察

テーマの考察は、「現状の把握から課題の設定、そしてそれに対する提案」のプロセスとなります。下図に示す「小論文作成プロセスモデル」の赤枠の部分に該当します。現状を体験や調査、情報共有などによって把握します。そこから気づき生まれ、問題の理解を深め、解決すべき課題の設定へと進展します。そして、この課題に対する検討を行い具体的な提案をまとめます。

この過程において、重要なもう一つのことは、検討する主体である<自分自身>についての理解です。テーマに対する現状の理解やその解決策に<自分がどう関わるか>は、皆さんにとって自分の将来設計にも密接に関連し、深く考察する価値があります。これが小論文において重視される理由です。



(3)わかりやすい小論文

素晴らしい提案も、適切な文章としなければ相手には理解されません。検討された提案をどのように書けば「わかりやすい小論文」になるかについて次に見てみましょう。

- ① 明快な文章構成：結論とその根拠を明示する文章構成とすることで、読者は文章を理解しやすくなります。小論文では、「起承転結」よりも「序論・本論・結論」の形式が推奨されます。
- ② 論理的な主張：問題提起とその結論をはっきりさせ、提案の根拠を論理的に説明します。
- ③ 適切な日本語表現：段落を明確にし、はっきりとした表現を用い、簡潔な文を心がけます。また、「が」の多用を避けるなど、文法にも注意します。
- ④ 応募要項(以下、要項)のルール順守：要項では、次のルールが示されています。
 - ・各自の題名を付ける。
 - ・文字数は1200字以内(400字詰め原稿用紙3枚以内)、1000字以上を目安とする。
 - ・原稿用紙は縦書きのものとし、1行目に題名を、2行目に学校名(不記載は減点)・氏名を、3行目から本文を書く。題名、学校名・氏名も字数に数える。
 - ・使用鉛筆はB又は2Bを用い、字は大きく鮮明に書く。
 - ・AIによる生成物を著しく引用し、自己の小論文として応募することはできません。

(4)「論理的に述べる」について

小論文では、感想文とは異なり、論理的に意見を述べることが求められます。明快な文章構成を用いて問題提起とその結論を示し、帰納的または演繹的な方法で結論の根拠を論理的に説明します。

3 審査

小論文の審査は、応募要項に明示されているように、以下の五つの観点から行われ、また、自分の体験や学習を基にして作成されている程度が高い場合は加点されます。第7回コンテストの場合、各小論文は7人の審査委員によって評価され、各審査委員の合計点によって入賞・入選が決定されました。

観察力	現状を注意深く見て学習し気づきを得ているか。
提案力	独創性に富み前向きな提案であるか。
主体性	自分が課題解決にどのように具体的に関わっていくか。
論理性	客観的、合理的な論理展開ができているか。
表現力	字は大きく鮮明(読みにくいものは減点)に書き、誤字脱字がなく、言いたいことを十分に伝えている文章と題名であるか。

4 まとめ

最後に、あなたの小論文をチェックするためのポイントをまとめました。これらのチェックポイントを通じて、小論文の質を向上させ、審査員に強い印象を与える小論文を目指しましょう。

- ☐ 現状をよく観察し、何らかの気づきを課題として捉えていますか？
- ☐ 課題に対して独自の提案を行っていますか？
- ☐ 提案に対する自分の考え方にはしっかりとした根拠が示されていますか？
- ☐ 自分がその課題にどのように関わっていくかについて触れていますか？
- ☐ あなたの小論文は読み手にとって理解しやすいものになっていますか？
- ☐ あなたの小論文は応募要項のルールに沿ったものとなっていますか？